

令和元年度第4回「千歳市子ども・子育て会議」会議録

日 時	令和元年11月6日(水) 10時00分～12時00分	
会 場	市役所第2庁舎 会議室5・6	
出 席 者	委員 ※50音順	市(事務局)
	委員 吾田 富士子	こども福祉部長 上野 美晴
	委員 磯貝 孝	こども福祉部次長 島津 一久
	委員 板垣 愛	こども政策課長 久保田 健司
	委員 大関 恵子	こども政策係長 井鳥 秀司
	委員 兼平 尚子	保育係長 阿部 さやか
	委員 斉藤 創	こども政策係主事 菊池 航
	委員 三溝 昌宏	市(関係部署)
	委員 西 博康	こども家庭課長 藤木 健一郎
	委員 松澤 菜緒	子育て総合支援センター長
	委員 三浦 朋美	磯部 由起子
	委員 村田 勢津子	こども療育課長 松田 和也
	委員 桃井 香織	保健福祉部次長(保健担当)兼母子保健課長
	委員代理 高橋 たまき	山谷 奈奈子
	教育委員会企画総務課長	
	伊藤 樹美	
	その他	
	(株)サーベイリサーチセンター 2名	
事 務 局	こども福祉部こども政策課	
会議の公開	公開	
傍 聴 者 数	1名(千歳民報記者)	

1 開会

委員数16人中13名の出席につき、会議が定足数(委員の半数以上の出席)を満たしていることを確認。

2 議事

(1) 第1期千歳市子ども・子育て支援事業計画の平成30年度実施状況の素案について

【こども政策課長から、資料1について説明】

(会長)

皆さんご質問はありませんか。なければ次に進みます。

(2) 第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画の素案について

【㈱サーベイリサーチセンターから、資料2-1（以下、概要）、2-2（以下、素案）について説明】
（こども政策課長）

素案41Pの【理由2】中の「往来」については、「片道の通園にかかる時間」に訂正いたします。

【こども政策係長から、資料2-2について説明】

【㈱サーベイリサーチセンターから、資料2-3について説明】

【こども政策課長から、資料2-4（非公開資料）について説明】

（会長）

何かご質問ご意見などはありませんか。

（A委員）

素案130Pの「②特定教育・保育施設等の保護者の負担軽減の拡充」について、「利用料が無償となりました」を「利用料が無償となりました」に訂正願います。

（B委員）

概要6Pの「政策の推進にあたって」について、千歳市は「子育てがしやすいまち」または「どちらかといえば子育てがしやすいまち」と思う人の割合が、現状値40.5%で、目標値50%というのは、客観的に高い数値なのでしょうか。それとも目標値をさらに高く設定する必要があるのでしょうか。

（こども政策課長）

本数値は市民アンケート調査結果によるもので、回答を5段階評価で求めておりますが、3段階目の「普通」の方をいかに引き上げるのかに重きを置いており、問題意識を持っていない方々からの評価をさらに上げるという意味では、10%というハードルは決して低くはないと考えております。

（こども福祉部長）

将来的には50%を超えた数値を設定する予定です。しかしながら、他市で同様の目標設定をしている自治体がありますが、達成は簡単なものではないようです。まずは今後5年間で10%の向上を目標とし、今後について検討していくこととしております。それを踏まえて、50%の目標設定が低いというご意見がございましたら、再度検討いたします。

（会長）

私は「普通」という回答は、良い評価という認識ですが、皆様はいかがでしょう。

（C委員）

とりあえず普通と回答している方も、多いのではないのでしょうか。

（会長）

わずかにいる「不満足」の人たちに目を向けることも大事だと思います。

（D委員）

転勤者が多い千歳市で、保育園などに通わせるまでの子育てのサポートの必要性を感じています。単独で転入してきた時に、一人で子育てをしていくことは非常に大変です。様々な市の施策がある中で、乳児に対する支援としてファミリーサポートセンターがありますが、利用するまでのハードルが高いと感じている利用者もいます。例えば、ファミサポをお試しで利用できるクーポンを、転入者に配布するといったことはできないのでしょうか。

もう一点、産前産後ケア事業についてですが、死産などで出産できなかった人に対するお母さんへのサポートが千歳市はできていないと思いますので、そのような方に対するサポートを実施していただき

たいです。

(こども福祉部次長)

本会議の役割は、まず計画をしっかりと確認し、進捗状況を審査し、全体的な視点で問題がないかを審議することです。現状は把握いたしました。本計画に掲載するためには、時間をかけて吟味していく必要があります。まずは今、これから生まれてくる子が、どうやって健やかに過ごせるかという点に、視点を置いていただきたいと思います。

また、補足説明として、資料2-4については、暫定版として配布しておりますが、12月頃に人口の動態値が確定した際には、全ての数値が変わる可能性があります。素案についても、各施策の最終的な確認をしているところです。その後に、パブリックコメントで市民の皆様からご意見いただくこととなりますが、その前に、委員の方々に素案をお示しし、事前に同意を得た上での実施を考えております。

(会長)

計画における数値の裏に隠れているものを、現場からどのように解決していくかを考えるために、子ども子育て会議で議論しておりますので、議題と逸れていても話をしていく意義はあると思います。市内には専門的な働きをしている人たちや、苦しんでいる方に心を寄せている人たちがいますが、その働きかけから漏れ落ちている人たちがいるということを確認していきましょう。

(E委員)

- ① 素案 116P の「②子育てバリアフリーの推進」について、小中学校周辺の歩道や信号機の設置をもっと推進したほうが良いと思います。
- ② 素案 72P の「(2) 学校の教育環境等の整備」について、指導要領が変わり来年度からプログラミングや英語教育といった新たな授業が始まりますが、それを指導する方々に対するサポート等の取組みをしていかれてはいかがでしょうか。

(F委員)

- ① 素案 72P の「(2) 学校の教育環境等の整備」について、来年度からの新たな取り組みの中にプログラミング授業の導入がありますが、先生がどのように教えれば良いかわからないと苦慮している声を聴きます。千歳科学技術大学では、ドローンを使ったプログラミングが、子どもたちにとってわかりやすいという話を聞きました。そのような仕組み作りを、行政で取り組んでいければ良いと思います。
- ② 新潟県のある小学校では、50年前から虫歯が全国で一番少ないという目標を掲げており、13年連続で1位になっています。そこでは、うがいを1回で済ますという取組みを実施しているのですが、そのような取組みに着目して、何かで千歳市をPRすることができれば良いと思います。
- ③ 鮭に含まれるアスタキサンチンには抗酸化作用があり、発がんを抑制する効果があると言われていますが、鮭がたくさん取れてがんが少ない街というPRができれば良いと思います。

(C委員)

- ① 素案 84P の「①地域子育て支援センターの拡充」について、自宅から遠い、車がないなどで身近な利用ができない」という記載がありました。冬になると、怖くて車が運転できないお母さんが多いため、例えば身近にある町内会館を利用して、保護者たちの交流の場を設けることはできないでしょうか。町内会活動や町内自体も活性化するのはないかと思います。
- ② 素案 92P の「⑥子育てに関する総合情報発信の拡充」について、週1回では更新頻度が少ないと思います。週に2・3回程度の更新があれば、お母さんたちの楽しみも増えるのではないのでしょうか。

(こども政策課長)

情報発信については、市民協働事業で実施しており、現役の子育て世代の方々に依頼しているため、更新回数を増やすといったことは難しい部分もありますが、今後この活動が市民の皆さんに広がり、独自で情報を発信することにつながれば良いと考えています。

(C 委員)

③ 素案 105P の「①食育推進計画に基づく食育の推進」について、千歳市は食育について何か事業をやっていますか。

(企画総務課長)

給食センターと学校等が連携した取組みや、給食センターに市民の方が訪れたりするなどの取組みを行っています。

(こども政策課長)

保育施設では、各施設の栄養士が集まって、食育をテーマにした紙芝居を作成し、年に一回子どもたちに読み聞かせるといった活動をしております。

(C 委員)

福岡市の保育園での取組みですが、そこでは子どもたちが手作り味噌を作っています。保育園や幼稚園を巻き込んで、味噌を手作りすることなどができれば、子どもたちにとっても面白く、楽しめるのではないのでしょうか。

(G 委員)

良い評価の 40.5%の人たちの中には、市の施策がこれだけあるのに知らないという人がいると思うので、発言にあったような魅力的な町内会での取組みや、子育て世代ではない人を巻き込んだ活動を実施する必要があると思います。また、全くそのような活動にこないお母さんもいますので、そのような方々にも働きかけができれば良いです。

素案 129P の「⑨障害福祉サービスの実施」について、障がいを持つお子さんの保護者は、お子さんの年齢によって関わる施設が変わってきますが、施設が変わるごとに一から子どもの説明をしていかなくてはならないと感じている人がいます。計画では、千歳市障がい者総合支援センターChip (チップ) が拠点として配置されるということなので、今後の活動について期待しております。

(こども療育課長)

未就学のお子さんが就学された場合については、チップで子どもの発達に関する事など、一般相談を受ける体制は整っております。そこではお子さんの将来的な計画を含めた相談も受けております。

(H 委員)

私は、良い評価が 40.5%であることについて、「普通」という回答は良い評価という認識でいます。概要 3P の「計画の基本理念」がすごく良いと思いますが、千歳市を選んでもらうことを目的とするのであれば、もっと特色を出していく必要があると思います。

① 千歳子育てフォーラムのような、二日間程度で文化センターなどを貸し切って、講演会や勉強会など様々な子育てに関する情報のイベントを行い、その中で千歳市の特色を発信できればよいのではないのでしょうか。

② 食育について、韓国では給食を全てオーガニックにするという対応をして、世界中から注目を浴びています。千歳市であれば卵の生産量が多いことや、農産物が多く取れることを生かして、地産地消

の材料しか使わない、添加物なしの給食を提供するなどして、食育で特色を出してみてもいいでしょうか。

- ③ 環境教育で、サーモンパークを過ぎると千歳川の水質が悪くなっていくので、千歳川や鮭などの資源について子ども達に伝えるような環境教育をするのはどうでしょうか。
- ④ アイヌ文化について、末広小学校で行っているアイヌ文化の授業を、市内の全小学校で取組み、アイヌ教育や歴史を授業に取り入れることはできませんか。
- ⑤ 概要3P「基本目標1」の「自己肯定感」の部分について、いかに子どもたちに社会的な遊びをさせるのかということが重要視されていますが、遊びに関することが書いていないので、記載していただけると良いと思います。
- ⑥ 「基本目標2」に関して、子どもが遊べるスペースのある会議場所がありません。また、そのようなときに集団で託児ができる施設やサービスがないので、ファミサポの事業などで提供できると、お母さんたちの学びの場が増えると思います。
- ⑦ 「基本目標3」に関して、子育てサロンは時間が決まっているため、時間が合わないとなかなか参加が難しいので、いつでも誰でも訪れることができる場があると嬉しいです。
- ⑧ 「基本目標4」に関して、千歳市の施策について知らない人が多いので、市民向けの勉強会などを開いていただけると良いと思います。
- ⑨ 中高生の居場所と社会とのつながりをどのように作っているか、このような会議の場で考えて行けたら良いです。

(会長)

たくさんアイデアのご提案ありがとうございます。

(こども福祉部次長)

様々なアイデアをご提案いただきありがとうございます。しかしながら、実施については難しい部分もあり、限られた予算、民間団体等での実施を含めた部分の中で、いかに最大の効果を出すかの側面も考慮していく必要があるということをご理解願いたいです。

(会長)

他にご意見等はありませんでしょうか。なければ、議題(2)については以上で承認されたということで、議事を進めます。

(3) 児童館・学童クラブの運営について

【こども福祉部次長から、資料3について説明】

(会長)

何かご質問ご意見などはありませんか。児童館・学童クラブの委託については、既に札幌市においては全施設が委託化されています。千歳市でも同様に委託で運営するということです。ご質問ご意見などがなければ、この件に関してはスケジュールどおり進めていただくこととします。それでは、議事を進めます。

3 その他

(こども政策係長)

今回の会議につきましては、本日の意見を精査いたしまして、改めて素案として作成した上で、委員の方々には郵送し、書面で審議いただく書面会議で対応いたします。皆様にお集まりいただくのは、年明けの1月か2月頃を予定しておりますので詳細が決まりましたら文書で通知いたしますので、よろしくお願いいたします。

(会長)

発言のなかった委員については、一言お願いします。

(I 委員)

政策の中で実施が難しい部分もあるかと思いますが、今後もこの会議で議論していければ良いです。

(J 委員)

私は、他の市と比べることができず、アンケートでは「普通」と回答しましたが、私の中で市の施策が当たり前になっている部分がありました。自分の子どもには、浸透するのに時間がかかるかもしれませんが、市はこれだけの事業をやっているのだとアピールできれば良いと思います。

(K 委員)

子育て支援を多く実施していると思いますが、小学生以上の支援が少ないと感じていたので、子育て特典カードの対象を高校生まで拡大することは良いと思います。医療費の助成についても、負担が大きいのので、高校生くらいまでは範囲を拡大したり、負担額を少なくしたりしていければ嬉しいです。

また、産婦人科が少ない、小児科の先生が足りないという話も聞くので、改善していければと思います。

(L 代理委員)

施策を使えないで苦しんでいるお母さんもいると思うので、スマホでの情報発信の強化や、目に触れる部分に広告を掲示するなど、より一層の周知を図っていければよいと思います。

4 閉会